

事業概要：東近江市の「森里川湖」の魅力を次世代へつなぐプロジェクト

新規

申請者	滋賀県東近江市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,700千円 (8,470千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の地理的特徴である「森里川湖のつながり」の保全・活用を通じて自然・歴史文化を次世代へ継承する。 ・「森里川湖のつながり」の価値への共感を通じた関係人口の創出を行い、これを原動力に持続可能なまちづくりを目指す。 ・森林整備により水循環の健全性維持を図ることで、企業の安定的かつ継続的な投資を誘発し、地域経済の持続的な成長に寄与する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>鈴鹿山脈から琵琶湖までを一体とした「森里川湖のつながり」を可視化・体感できる展示や体験型事業を通じ、市民の理解と主体的な関与を促すものである。博物館展示や環境モニタリングにより科学的に流域の構造を示すとともに、巡回型イベントで関心の裾野を広げ、関係人口の創出を図る。これらにより、持続的な流域保全につなげる。</p> <p>また、源流部の森を適切に管理し、「森里川湖のつながり」を保全してきた木地師文化に縁の深い自治体の首長が参集するサミットを開催する。自治体間のネットワーク構築やネイチャーポジティブの考え方に対する共感から関係人口を拡大することで、自然や歴史文化の活用や継承につなげる。</p> <hr/> <p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森里川湖を可視化する展示制作委託費等（人件費、技術料等） 3,400千円 ・調査用PCリース費（情報機器借上料）420千円 ・木地師サミット企画運営支援委託費等（人件費、通信費、報償費等） 4,650千円 						
主なKPI	<ul style="list-style-type: none"> ①関係人口の創出数（+50人） ②能登川博物館の来館者数（+450人） ③森里川湖キャラバンにおける親子連れでの参加者数（+2,200人） ④木地師サミットへの参画自治体数（+9自治体） ⑤木地師文化に関する広域メディア掲載件数（+20件） 						

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値